



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第244号

2026年8月31日

「終わってみて」

晴・天の2羽が旅立ってからしばらくの空は、巣材を運んだり巢に座ったり、営巣行動をしていました。1週間ほどで放鳥のために開けていた奥半分の天井ネットを閉め、半月ぶりに大ケージ全体を使えるようになりました。その後、大きくできあがった巢も解体して、繁殖期前の元の広さにリセットしました。



ガラス側からなかなか撮れない相互羽繕い、観察カメラで撮れました！

空と花はというと、何もなかったかのよう
に子育て前のペアの行動に戻りました。
相互羽繕いも増え、クラッタリングしあ
ったり、一緒に採食したりしてのんびり過
しています。子育てもうまくゆき自信が
ついたので、一回り大きくなった感じがし
ます。きっと来年も大丈夫でしょう。



一緒にクラッタリング

昨年と同じように、夜間の巢台の上では1 mほど距離を取って過
ぎています。1シーズンを終えて、程よく距離を保っているようです。

スタッフたちは、野外でのコウノトリ目撃情報を受けて現地確認へ行っています。放鳥直後は田んぼの稲もまだ低く、足環もよく見えましたが、最近では背中がやっと見えるような草丈のところでも採食しています。



野外での晴たち



大ケージは定期的に除草

天空の里オープンから5年で放鳥を迎えましたが、当初思い描いていたより実は少し長くかかりました。次の繁殖シーズンはまた年明けから。年を越すまで、空・花・私、一旦肩の荷を下ろしてのんびりします。

ところで、最近は変な天気が目立ちます。池掃除をしていると雨が急に降り始め、カッパを着ようか悩み、着ていくとすぐにやめます。ある時は、曇っていて涼しいので、巣材用の草を刈って干そうと作業をしていたら、突然太陽が出てきて暑くなりました。変わりやすい天気の中、ふとマーフィーの法則を思い出しました。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：最長老